

国境を越えた団結で戦争を阻止／福島への怒りと団結して全原発廃炉／労働者の団結で社会を変える！

# 改憲・戦争許さぬ大運動を

## 8月17日(日)正午／東京・日比谷公会堂

# 前進

週刊

発行所 前進社  
編集・発行人 城戸通隆  
本社 東京都江戸川区松江  
1-12-7 振替 00190-0-88857

ホームページ  
<http://www.zenshin.org/>

# 号外

通常号6ページ

本体300円+税  
購読料(送料別)

開封/密封  
1ヵ月 1512円(170/416)  
6ヵ月 9072円(1020/2496)  
1年 18144円(2040/4992)

神奈川支社 横浜市南区高砂町1-10-38  
関西支社 大阪市天王寺区寺田町2-1-19  
中国支社 広島市南区宇品西1-2-38  
九州支社 福岡市博多区半道橋1-7-22  
振替01700-6-105428

反帝国主義・反スターリン主義の旗のもと  
万国の労働者団結せよ!  
革命的共産主義者同盟  
全国委員会

革命的共産主義者同盟  
綱領草案  
700円+税  
発行/前進社

## 労働運動と国際連帯で安倍倒せ

### 青年・学生を先頭に社会変えよう



「自衛」口実に帝国主義が戦争を拡大し、さらには国民化・非正規職化、社会保障の切り捨てと生活破壊が進んでいます。原発事故や戦争で、私たちの命までも奪われようとしています。私たちが労働者階級の決意と行動に、世界の未来はかかっています。

最大の問題は、1980年代の国鉄の分割・民営化を起点とする新自由主義攻撃で労働組合が破壊され、労働者の団結が奪われてきたことです。新自由主義を打ち破り、闘う労働組合をよみがえらせること、そして国境を越えた労働者民衆の国際連帯をつくりだすこと——それが戦争を阻止し、社会を変革する道です。

労働組合・学生自治会を先頭に、あらゆる怒りと行動をひとつにして、8・17集会へ大結集しましょう。

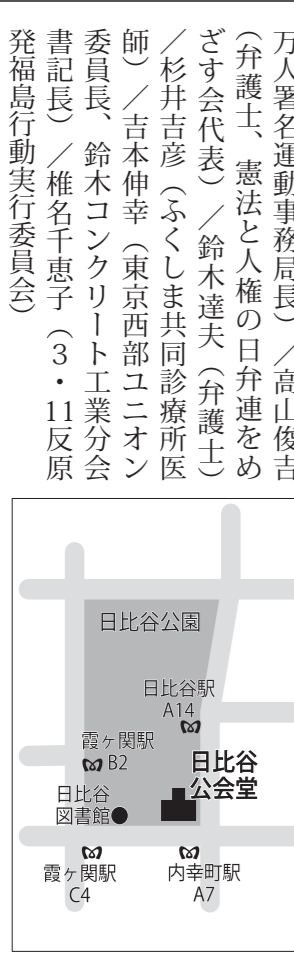
## 8・17日比谷大集会

8月17日(日)午前11時開場、正午開会  
(オープニング/歌と詩の朗読)  
日比谷公会堂(東京・日比谷公園内) \*参加費500円

●記念講演 荻野富士夫さん(小樽商科大学教授)  
「『蟹工船』から見えるもの」  
韓国・民主労総ソウル地域本部 チョヨンナンさん  
「労働者民衆が望まない戦争と原発はなくすべき」

●代表呼びかけ人あいさつ/8・17宣言/動労千葉、動労水戸からの特別アピールほか  
主催/安倍をともに倒そう！集会実行委員会

●代表呼びかけ人  
西川重則(とめよう戦争への道！百万人署名運動事務局長)／高山俊吉(弁護士、憲法と人権の日弁連をめぐらす会代表)／鈴木達夫(弁護士)／杉井吉彦(ふくしま共同診療所医師)／吉本伸幸(東京西部ユニオン委員長、鈴木コンクリート工業分会書記長)／椎名千恵子(3・11反原発福島行動実行委員会)



## 主な講演者・出演者

●小林多喜二 研究 荻野富士夫さん  
日本近現代史専攻。研究分野は戦前・戦後をとおした戦争と治安体制、初期の社会主義思想。小林多喜二の小説『蟹工船』の感想文コンテスト選考委員を務め、『私たちはいかに『蟹工船』を読んだか』(遊行社)を編集。主な著書は『多喜二の時代から見えるもの』(新日本出版社)、『小林多喜二の手紙』(岩波文庫)、『特高警察』(岩波新書)、『戦意』の推移—国民の戦争支持—協力(校倉書房)。



●韓国・民主労総ソウル地域本部  
韓国の全国民主労働組合総連盟は80万人を擁する全国組織。ソウル地域本部は組合員20万人。1〜2月、民主労総は鉄道労組の23日間ストに続き、「鉄道民営化阻止・労働弾圧粉砕・パククネ政権打倒」を掲げてゼネスト、7月に10万人のストを敢行。4月のセウォル号沈没事故は新自由主義が根本原因だと弾劾して闘っている。来日するチョヨンナンさんは南北統一事業を担当するソウル本部統一委員長。



●物まねマイナー 松元ヒロさん  
法政大学法学部政治学科を卒業後、パントマイマーとなり全国を巡業。その後、日本テレビ「お笑いスター誕生!!」に出演し、第4回オープントーナメントサバイバルシリーズで優勝した。1988年、コント集団「ザ・ニュースペーパー」の結成に参加。98年に独立。自らを日本国憲法に見立てた一人芝居「憲法くん」や、時の首相、政治家の物まねコントで痛烈に政治を風刺して人気を博している。



●鈴木達夫さん、動労千葉、動労水戸  
鈴木達夫さんは弁護士。元NHK番組制作ディレクターで、元日放労(NHK労組)長崎分会委員長。今年2月の都知事選に立候補し、「1千万人の怒りでアベ倒そう」と訴えて健闘した。



7月1日、戦争のための閣議決定を許さないと首相官邸前で抗議の声を上げる

# 被爆69周年 8・6ヒロシマ 集団的自衛権と安倍に怒り



〔右〕8・6ヒロシマ大行動のデモを終え、平和資料館前で「安倍をこぼし倒せ! 8・17集会」に向け団結カンパニー! 〔左〕原爆ドーム前元安川沿いに式典方向へ向かうデモ隊(8月6日朝 広島・平和公園)

## 日韓軸に国際連帯で勝利へ

ヒロシマ・ナガサキと福島の怒りをひとつに、労働運動と国際連帯の力で全原発廃炉・核廃絶を訴えて被爆69周年8・6ヒロシマ大行動が意気高く闘いぬかれた。「69年前、いま私たちが立っているこの地で引き起こされたこと、今も続く放射能の闘い、被爆者の無念と怒り——そのすべてを胸に刻み込み、安倍倒せの怒りのデモへ! たまた今から新たな行動をおこしましょう!」(8・6ヒロシマ・アピール)。集団的自衛権行使の7・1閣議決定で戦争に突き進む安倍政権への怒りが沸騰した。「許すな改憲、安倍倒せ!」の闘いへ、新たな運動が始まった。



労働者国際連帯の力で戦争を阻止しようと誓ったヒロシマ世界大会(8月5日 東区民文化センター)



デモの先頭でコールする城西工団労組のイムボンナム委員長。右は谷口恭子事務局長(6日)



〔上〕ヒロシマ世界大会で発言する「核なき世界のための医師会」のキムインソン(東区民文化センター) 〔下〕福島からは国労郡山工場支部の橋本光一さん(10・1外注化阻止を闘う決意を表明した(8月5日))



8・6ヒロシマ大行動のデモは、進む先々で圧倒的な反響を呼んだ。機動隊の弾圧をはねのけ、8・17安倍倒せ!大集会のチラシを受け取り、デモ隊に手を振り、声援を寄せる青年たちが続出した(6日)

◆全原発廃炉・核廃絶を  
8月5日、広島市東区民文化センターで「全原発廃炉・核廃絶ヒロシマ世界大会」が開かれた。韓国から参加した「核なき世界のための医師会」のキムイクジュンさんは「3・11後の日本の闘いに注目していた。ふくしま共同診療所の取り組みを知り、ぜひ会いたいと思っていた」と語り、「韓国で原発をなくすためには、日本で全原発廃炉の闘いが必要だ」と連帯闘争の重要性を訴えた。  
韓国からは民主労総の3人の労働者も来日し、民営化・外注化阻止、非正規職撤廃へ日韓労働者の連帯闘争を推し進めた。  
◆原爆ドーム前で大集会  
8月6日の朝は43年ぶりの大雨の中、午前7時すぎ原爆ドーム前に5000人が集まり、8・6ヒロシマ・アピール集会が始まった。  
被爆二世の中島健さんが「既成の原水禁運動は安倍来広を弾劾しない。青年を戦争に動員しようとする安倍を許せるか!」と声を高めた。福島、沖縄などから怒りの発言が続いた。原爆が投下された8時15分に黙とうを行った後、「首相式典出席弾劾・中国電力包囲デモ」に出発。「集団的自衛権弾劾!」「戦争・改憲の安倍を倒せ!」「戦争・改憲の安倍を倒せ!」と、怒りのコールが安倍を直撃した。  
午後からは広島県立総合体育館で8・6ヒロシマ大行動大集会が開かれ、1170人が参加した。基調提起に立った谷口恭子事務局長は、自らの解雇争議の中で「8・6と労働組合運動はひとつの闘い。闘う労働組合をつくることで戦争を阻止する道」と語った。さらに広島県の保護運動や闘う労働者からの発言が続いた。  
労働者からの発言が続いた。  
◆平和公園へ市内をデモ  
集会後、福屋を包囲して平和公園までデモ行進。平和記念資料館前で8・17比谷集会代表呼びかけ人の高山俊吉弁護士が、「7・1閣議決定に対する労働者民衆の答えは8月17日の大集会だ。安倍政権に怒っている多く人の参加を実現しよう」と呼びかけた。